【令和5年度予算概算決定額 40(43)百万円】 (令和4年度補正予算額 55百万円)

JAS等の国際標準化による輸出環境整備委託事業

<対策のポイント>

民間の取引条件等の課題を解決し、輸出拡大に向けた環境を整備するため、輸出実績の向上に貢献するJAS等の国際標準化等を推進します。

<事業目標>

農林水産物・食品の輸出額の拡大(2兆円「2025年まで)、5兆円「2030年まで))

く事業の内容>

1. ISO及び諸外国の国際標準化状況調査

ISOや諸外国の国際標準化の状況や、新たにJASを制定すべき分野、ISO提案を行う分野について調査を実施し、新規JAS及び国際標準化の検討を行います。

2. 国際規格の制定

ISO規格等の国際規格の制定に向け、**国際標準化戦略の検討、技術的データの 収集、関係者間の合意形成、規格の実証・検証等を実施**します。

3. 国際標準化等にかかる専門人材の育成

民間企業等において、国際規格文書の作成・解釈や国際会議での交渉に精通した 専門人材を育成するための高度な研修を実施します。

4. 既存JASの国際標準化

JASの国際標準化を図るため、検討会を開催し、**業界の競争力強化につながる規格のあり方や今後の方針等の検討**を行います。

<事業の流れ>



く事業イメージン

○ 輸出実績の向上に貢献するJAS等の国際標準化等を推進

JAS等をベースとした国際規格の制定

- 1. ISO及び諸外国の国際標準化状況調査
- 2. 国際規格の制定
- 3. 国際標準化等にかかる専門人材の育成

既存JASの国際標準化

4. JASの国際標準化に向けた業界毎の 対応方針の策定 農林水産物・食品の 輸出環境整備

国際標準化活動の

実践

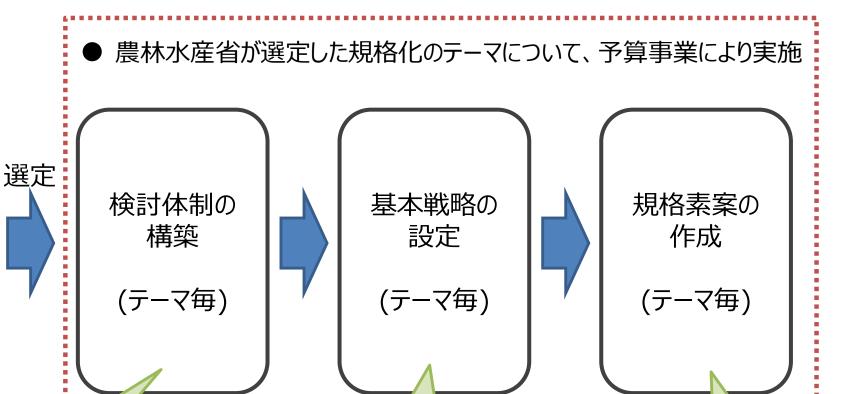
- 農林水産業・食品産業に国際標準化のノウハウ・経験を蓄積
- 業界による積極的な国際標準化、国際規格の活用を促進



- 民間の取引条件等の課題を解決
- 輸出拡大に向け、規格に既に合致している我が国産品をそのまま市場に 出せる環境を整備

[お問い合わせ先] 大臣官房新事業・食品産業部食品製造課基準認証室(03-6744-2096)

予算事業による規格素案作成の流れ



・事業者、業界団体、研究機関、 自治体、学識経験者等に加え、 農林水産省・FAMICで構成

JASの制定・

国際化のテーマ

(提案募集)

- ・目標・目的の設定
- ・検討の進め方(活用する国際的枠組み、支持層作りを含む)

など

- ・技術的データの収集、調査
- ・関係者間の調整

など